



校訓

なかよく かしく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和5年10月13日 第13号 文責 梶原 圭一



前期から後期へ 節目を迎えて

秋風が心地よい季節となりました。令和5年度も折り返しの時期を迎えました。10月6日(木)に98日間の前期を終了し、10月12日(木)から後期が始まりました。前期の終業式は、インフルエンザ等の感染症拡大防止の観点から、急遽リモート形式で実施しました。前期に行った行事や教育活動を振り返りながら、子どもたちの成長について話をしました。また、夏休み後の前期後半が始まる際に話をした3つのお願いから、自分たちの学校生活について振り返ってもらいました。さらに、3人の子どもたちが前期の感想発表をしてくれました。学習や生活面で頑張ったことや後期に取り組みたいことなど、カメラに向かってではありますが、しっかりと発表してくれました。3人とも素晴らしい発表でした。

5日間の秋休みを挟み、後期がスタートしました。後期も100日間ほどではありますが、子どもたち一人一人の成長が楽しみなところです。後期も各学年で様々な教育活動が計画されていますが、実り大きな期間してほしいと願っています。

校長講話の中で、前期同様に子どもたちに3つのお願いをしました。まず一つ目は、「自分を大切にするように、友達を大切にしよう」です。自分たちが日頃使っている言葉や行動は、自分、そして友達を大切にしたものになっているかどうかを常に振り返りながら成長してほしいと願い、伝えました。二つ目は、「気持ちよいあいさつと『ありがとう』の言葉を大切にしよう」です。子どもたちが安心・安全に過ごす毎日、たくさんの人たちの支えがあります。そのことを感じ、常に心のこもったあいさつや『ありがとう』という言葉で伝えることができる子どもたちであってほしいと願っています。三つ目は、前期後半にもお願いした「あきらめない。絶対にあきらめない」という気持ちをもってほしいというものです。「めんどくさい。」や「どうせできない。」とあきらめてしまえば、できるようになる自らの成長を感じることはできません。私自身も鉄棒の逆上がりや縄跳び、持久走など、小学校時代に苦労したことがたくさんありましたが、頑張ったことで得た喜びの経験を語りました。子どもたちには、苦手なことから目を背けず、挑戦する気持ちを忘れないでほしいと思います。

来年3月の修了式では、この3つのお願いから後期を振り返ってもらおうと思っています。後期も、本校職員一同心を合わせて、子どもたちが「分かった、できた、もっと頑張ろう」と思えるような教育活動づくりを考えていきたいと思っています。前期同様、保護者の皆さま、そして地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆◆素晴らしい自由研究です!◆◆

子どもたちが興味のあることについて主体的に研究を進め、結果をまとめた自由研究の中から、菊池郡市の科学展に6点出品したところ、金賞1点、銀賞5点と、どれも高い評価をいただきました。研究内容も「水性インクの不思議にせまる」「ぼくのカメを調べてみた」「いろいろな花のつくり」「日常の雲を調べてみた」「リンゴの変色を防ぐものは?」「水は何時間でこおるか」と、子どもたちの身近な不思議を考えたものばかりでした。それぞれの研究の目的を読みながら、子どもたちの課題発見力の高さを感じました。作品は理科室に掲示しており、今後の子どもたちの研究意欲を高めていきたいと思っています。



<今後の主な予定>

10月24日(火) 熊本県教育委員会教育委員視察訪問
10月26日(木)～27日(金) 5年生集団宿泊教室

10月27日(金) 給食試食会